

御嵩町新庁舎等整備事業 今後の方針に関する町民説明会(質疑まとめ)

日 時:令和6年8月21日(水) 午後7時～午後8時30分

会 場:中公民館 3階大ホール

町民) 2点ほどあります。一つは位置の関係で、確かに盛土をすれば浸水は防げるかもしれませんが、そこへ行き着くまでに水がいっぱいになったら、行き着くことができないと思います。その点についてどのように考えてみえるのか。それから2点目ですが、今後のスケジュールで亜炭鉱工事が開発申請や農地転用申請の前に予定されていますが、これは申請をすれば必ず通るという見通しで、時期を設定されているのかどうか、この2点をお伺いしたいと思います。

町) まず計画地の安全性についてご説明します。計画地については1000年に一度の大雨に伴うハザードマップにおいて浸水する可能性があるとして示されていますが、計画地を国道21号バイパスと同じ高さまで盛土することにより浸水しない計画としています。先般の第三者委員会の調査報告書では、盛土対策により安全性は確保されとの評価がされています。また計画地周辺については長期浸水の可能性は低いとの評価もされています。なお、新庁舎は災害時において指示・発信する拠点施設であるため、避難所の指定等については考えていません。災害時には緊急情報を発信し対策がしっかりと図れるような高い防災力を持った庁舎を目指します。続いて、亜炭鉱工事についてお答えします。亜炭鉱対策は現在のスケジュールでは令和7年度に予定しています。開発許可申請と農地転用申請は令和7年度末に予定していますが、亜炭鉱対策工事はこれら新庁舎の法令許可申請とは別で進めてまいりたいと考えています。

町) 補足ですが、亜炭鉱充填は造成工事を行う前に実施する方がコスト的にも良いため先行したいと考えています。開発申請や農地転用の許可前に実施することについてどうなのかとのお質問ですが、今後設計等を進めていく中で、農地転用や開発申請が通るよう適切に進めていくことは当然ですが、これらをしっかり見据えた上で造成前に亜炭鉱充填工事を実施したいと考えています。庁舎の安全性を高めるという意味でも亜炭鉱対策は必要なものと認識しています。

町民) 庁舎の安全性は分かりましたが、庁舎は防災対策本部になるわけですから、浸水しているところに職員が行き着くことができない状況生まれるのではないかと心配をしております。そここのところの回答をお願いしたいと思います。

町) 職員は大雨が降る前に気象情報等において事前に把握します。このため災害等に備え事前に防災拠点である庁舎に職員が参集することは可能と考えます。なお、計画地の浸水対策については、21号バイパスと同じ高さまで盛土することにより安全性は確保されると先ほど説明しましたが、周辺の農地や周辺の道路については、21号バイパスよりも低い位置となるため部分的に浸水する可能性もあります。避難や移動の際には、安全な21号バイパスを基本とした通行経路になろうかと考えます。

町民) 今の話を聞いて思ったのですが、当初計画でも防災上安全との説明を受けている。現在、農地転用の許可は取り下げたが、開発許可は申請中ではなかったでしょうか。調整池の位置も決まっており、なぜそれを変えるのかが疑問である。今までの構想が全てひっくり返し見直しますとされているが、過去の構想が間違っていたのかが疑問。これまでの構想に対して予算も使っている。これまでの経費は約6億円と言われていますが、この61億円の中には過去の経費は含まれているのでしょうか。今後は無駄な手戻りは起きないのか非常に不安である。今回この用地に決まり、これからの方針を聞きましたが、今までやってきた内容を見るとこれからもそのような不安感があるので、どう考えてみえるのかお聞きしたい。

町) はじめに法令申請の関係ですが、農地転用申請については取り下げ、開発許可申請については現在県において審査保留中の状況です。今回、駐車場と調整池を兼用する構造変更を予定しますが、事業全体のコストを削減させる目的でこのような計画としています。計画の見直しにあたり開発許可は再度申請行為が必要になると思われるため、引き続き申請書類をどのように取り扱うのかも含めて県と協議を進めてまいりたいと考えています。続いて費用について説明します。これまでに費やした経費は約6.8億円となっていますが、この経費は総事業費60.9億円の中に含まれています。今回の方針および計画により、手戻りがないよう覚悟をもって取り組んでまいります。

町民) 大事なお時間をすいません。最初に庁舎を移転するという話が出たときに、今までは庁舎と保健センターが一緒だったので両方を一緒に行けるのですが、庁舎は移転するが保健センターはそのままと聞いてびっくりしました、ですが、今日の説明を聞いて庁舎と保健センターが一緒という話も聞きましたので安心しました。

町) 今回庁舎の構造を見直すことにより床面積が確保できる可能性もあり、保健センターの移設も可能かどうか検討してまいります。ただし、今後設計を進めていく上でないと確実かどうか分からない部分もありますが、引き続き利用者の意見も踏まえ検討してまいります。

町民) 21号バイパスからのアクセス道路は1本だけなのか。アクセス道路は多数必要かと思います。それと調整池の水は下流域へ流されると思うが、下流域には農地があり皆さん困ると思います。また庁舎だけ盛土すると東側の住宅地は浸水すると思います。

町) 計画地の進入計画について図でご説明します。計画地への進入は21号バイパスに新設する信号交差点からの進入を基本としていますが、緊急時等において車両が出入りするための出入り口を他に4箇所設けています。ただしこれらはあくまでも緊急時に解放するものであり、通常は信号交差点からの出入りが基本となりますのでご理解をお願いします。続いて、東側の住宅地が浸水するのではないかとのご指摘ですが、高低差等を考慮しても浸水する可能性はないと考えています。続いて調整池の水を下流域へ流すことについてのご指摘ですが、計画地に降り溜まる雨水は調整池で受け止め、全て可見川へ放流します。計画地の雨水は西側の農地に流すことなく直接可見川へ放流する排水計画としています。

町民) 今日初めて新庁舎に関わる話をお伺いすることができました。やっと議会と町で一つの方向にまとまった段階であるとのこと。私の場合、毎年確定申告で役場に行きます。その役場に70億もかけること自体、自分の中で感情的になり行かなかった。なぜそう感じたのか自分なりに考えてみると、新庁舎建設のことだけが先行しているからである。御嵩町に住んでいる我々にとっては普段の暮らし、行政サービスがベースにある。この間ずっと検討し、一つの計画にまとまったことは一歩前に進んだことと思いますが、先ほどの質問の中で東側は絶対に浸水しないとは言えないのですよね。昨今、何が起こるか分かりません。もう一つ気になっているのは

可児川へ水を流すということですが水位が満杯になったら流れるのか。十数年前に2年続けての洪水という被害もありました。結局水が流れないから逆流して水がついた。それこそ100年に一度とか1000年に一度とか、その時はその時として何とかやり過ごすしかないだろうと思う。新庁舎が必要なものの耐震強化とかいろいろな問題がありますよ。例えば、今度医療費を高校生まで無料にしようということで準備されてみえますよね。子供さんの給食費はどうなるのか。名鉄電車の問題もそうです。それからふれあいバスは空気ばかり運んでいる。そういったものを全て考え将来の御嵩町はこうありたいというビジョンが重要。住民1人1人が良かったと思えるトータルのものがあって、その中に新庁舎建設があるといった議論を進めていくべきだったのではないかと思います。だからそういう部分では、当初からボタンの掛け違いで議論が進んできたと僕自身は思っています。当然できることとできないことはあると思うのですが、新庁舎はいろいろ負担をしても進めるしかないと思いますけど、やっぱり住民にとって御嵩町に期待してもいいかなと思えるような議論をしていただければ大変ありがたいなと思います。

町) ご意見ありがとうございます。少し説明をさせていただきます。今回の計画では新庁舎だけではなく、防災広場なども整備する計画としています。昨今の能登半島地震の状況を見ても、支援活動が行えるある程度のスペースを持った支援の形態が、最近の支援活動のあり方となっています。こうした意味において防災広場はいざという時のスペースとして十分確保しておくことが、町民の皆様の安全安心を守るために必要だと考えています。また普段使いで考えますと、こうした防災広場は町民の皆様で特に若い方からのニーズが多く、子供たちが十分に遊べるスペースであり賑わいも生まれる場所であると考えています。こうした意味で庁舎だけではない住民サービスの向上にも役立つものと考えています。続いて2点目の可児川が満水したとき逆流するのではないかとのご質問、ご意見がありました。今回見直しを行う駐車場と調整池の兼用ですが、これは可児川が満水になり放流できないような状況になった場合には、この調整池で一旦水を受け止めるという形になります。可児川へ排水できる水位まで下がってくるまでは、この調整池で受け止めるという形になります。

町) ご意見いただいた部分についてはしっかり承ってまいります。私も常にお話させていただいていますが、この庁舎建設が目的ではございません。あくまでも将来のビジョン、御嵩町の在り姿、まちづくりそういったことがビジョンであり、その一環として、庁舎があるべきだということをしっかり示していく必要があると思います。今後、様々な場や機会を用いて説明をしていきたいと思っています。

町民) この21号バイパスですが既に朝と夕方は工業団地の車ですごく渋滞している。朝もすごいスピードで迂回路として車が結構通る。それでこの保育園とか児童館ができたときに、送迎とか出勤で混むことに対しどう考えているのか。どう解消しようと思ってみえるのかお聞きしたい。

町) アクセスの集中についてのご心配ですが、役場に用事がある方、保育園の送迎の保護者、職員の通勤、これらのピーク時間が分散しているため交通渋滞は発生しないと考えています。なお、日々の交通渋滞に関してはバイパス4車線化の工事の全線開通化に向け、引き続き国交省への要望等に努めてまいりたいと考えています。

町民) アクセス道路の関係ですが、庁舎の西側農地の道路は狭く、ここ通ると例えば農作業でコンバイン作業をやっているときに、車が通行できないとかトラブルが起きるような感じもしているがどう考えているか。看板など設置できないか。それから調整池について、例えばどれくらいの降水量だったら可見川に放水しなくて大丈夫なのか数字がありましたら教えてください。

町) 庁舎西側の道路を使い新庁舎へアクセスすることの懸念ですが、地元への配慮の面で調整が必要と考えます。保育園送迎の保護者あるいは児童館利用者等に対し、信号交差点から出入りしていただくよう丁寧にアナウンスをしていく必要があると考えます。看板の案については、交通渋滞の状況などを勘案しながら関係機関と協議してまいりたいと思います。また、調整池の関係ですが本日設計資料を持ち合わせておらず、申し訳ありませんがこの場でのお答えができません。

町) 調整池の大きさや容量については、開発面積に対してどれだけの容量が必要かという開発許可基準に従って定まります。コンサルタントの方で計算し、容量等を決めています。何ミリ降ったらという前提の数値が確認できませんが、コンサルタントがその基準に基づいて設計しているところからまず確認をさせていただきたいと思います。続いて、西側の道路ですが今は朝夕に通り道になっていますが、今回の開発により通り道ではなくなるのも一つの利点と考えます。ただ仰られるように今度は新庁舎を利用する方々が通過するのではないかとの懸念もあります。先ほど申し上げましたように、看板の設置や地元の調整、来庁される方々への呼びかけなどにより解消を図ってまいりたいと考えています。

町民) 今回議会との合意のもとで計画を進められておりますが、前計画も議会と合意のもとで進められた。今回も最終的に頓挫するということは考えられないですか。議会としてどう考えていますか。

議会) それはないと今は確信しております。議会でこの位置をしっかり練り上げて決めました。いろんな方の考えが変わられたと私は思っていますので、今回は変わることはないと思っています。

議会) ハードルが高いのは位置条例であり、これは過半数ではなく3分の2の賛成が必要となります。今回の資料にもありますように位置に関しては一致しておりますので、なるべく早い段階で位置条例を出していくことにより皆様に安心していただけるかなということを思っております。

町民) 新庁舎予定地の草刈りは町で対応して頂いておりますが、刈った草が水路に流れて下流で詰まり大変な思いをしています。水路の清掃はきちんとしていただきたいと思います。新庁舎ができるまでまだ年数がかかりますが、その間もきちんと水路の清掃をしていただきたいと思います。また計画変更により、水路の取り回しの仕方が変わるのかどうか水利組合の方にも改めて説明をして頂きたい。

町) 先般計画地の草刈りをさせて頂きましたが、水路の清掃ができておらず申し訳ありません。引き続き現場の適正管理に努めてまいります。また、今回の計画見直しにあたり地元水利組合にも丁寧にご説明させていただきますのでよろしくお願い致します。

町民) 場所も含め、総額が78億円になるということで反対された方がいらっしゃったという認識でおります。今回、懇談会で5回に分けて話し合った結果、場所については全員合意をしているということですので、位置条例を出すことによってそれが明確に示されるのかなと思います。今の段階で合意しておりますので、位置条例を出した場合、通る可能性は非常に高いのではないかという認識である。反対された理由を教えてください。

議員) 反対とか賛成とかそういう単純なものではない。よく考慮し総合的な判断として問題があるという、その問題点を指摘してきたのが私どもです。今回のこの懇談会結果報告というのは、その問題点を色々な立場からお互いに意見を出し合った

中で、なるべく早いうちにその共通点を見出したいという努力をしているところです。私は今日まで積極的な賛成はしてきませんでした。理由はいろいろあります。まず交通の便について、交差点が一箇所であるが国交省との話の中では、開発申請の中でしか表現されていない。その開発申請がまだ許可されていない状況の中で、本当に信号交差点が整備できるのか。短距離の中に信号が二つも三つも重なり、そういう心配もあるわけです。それから計画地は河原田、いわゆる河原であり非常に地盤的が軟弱でもあるし、土壌改良から埋め立てをすると、相当費用がかかる。そういうことも考えた中で、庁舎というのは緊急の場合に、やはり拠点になるべき位置をきちっと定め、そしてそこに指揮命令の拠点となる建物であるべきである。元々この新庁舎の構想がどんどん広がって膨大な計画にまで発展した。庁舎だけであれば3.7ヘクタールも必要ない。2ヘクタールもあれば十分である。そういうことも含めて、もう一度よく検討しなければならないため、私は賛成しかねるということで今日まで来ているのは事実です。その人その人により、感性というのがありますので、色々な意見があるということはこれまでも聞いておりますし、承知もしております。その中で今、本当にベターな選択は何かを真剣にやっています。ですから簡単に賛成や反対と言うことではなく、何とか良い方向に話を持っていきたいというのが基本です。ご理解をいただきたいと思えます。

町) 信号についてですが、これまで信号機を新設する前提で関係機関との協議、開発申請を進めてきました。引き続き、そのような前提で進めます。

町) 補足ですが、これまで警察等の公安協議をしており、信号機の必要性は伝えてあります。今現在できるという確約はお伝えできませんが、警察の方にも理解を得てこれまで協議しています。今後もその理解のもとで協議を進めてまいります。

議員) 以前の計画には私は最終的に反対をしました。新庁舎を作りましょうということで位置を決めるときには賛成をしました。そして今回、新町長が見直しますということで、事業費縮減を徹底的かつ確実に図りますとのことで、事業費を見直しされました。そしてホールを今計画では休止しますということで、ホールはやはりとても維持管理費がかかるものです。あった方が良くと言われる方も多いと思いますが、やはり公民館のホールをどうしていくのか、そうした議論をした上で本当に必要なものなら作ればいいと思います。計画ではそのあたりの議論が足りなかったのではないかと感じていました。そして新庁舎の構造は見直しをし、簡素で質実剛健な庁舎とするということになりました。今回の議会と行政との懇談会を通して、私は思っていたことがいろいろと実現されましたし、この計画であれば御嵩町の顔とし

での立ち位置と町民の皆さんが利用しやすい、そして職員も元気に働ける場所になると思い賛成をします。

町民) 61億円を超えない額を意識して削減に取り組むとありましたが、最初の計画から無くなったのはホールだけである。78億円の中にはホールは入っていた。ホールが十数億円位かかるとすれば、ホールをやめれば黙っていても金額は分かる。大体78億から12.5億引いたら、65億程度で済むことは当たり前のこと。いちいち言わないでもわかる。それよりも反対した理由はもっとはっきりしている。同じ場所で少し中身を変え、位置を変えただけで考えが変わるとか、そんな程度で今まで議会は何をやってきたのか。

町) 町の立場からお答えさせていただきます。議会の方でも賛成反対いろいろな意見があったと思います。皆さんそれぞれの意見がある中で、なかなか賛成や反対の話をする場面も難しい。それを踏まえ町の方として、賛成の方、反対の方それぞれ意見を聞きながら、前に進めていくということは皆さん一緒だと考えています。その場として懇談会ということをご提案させていただき、5回の懇談会にわたり賛成反対いろいろ意見も出ました。その中で最終的に前に進めるということで、今回の一定の合意を得たものになっています。町民の皆様より良い庁舎計画を進めていく、そこは一致していますのでご期待いただきたいと思います。

町民) 計画は一旦途絶え、それでゼロからのスタートではないのですか。場所も見直すものではないのか。

町) 申請を取り下げということからも、現在の計画では進まないことは承知していました。選挙においても全体をしっかりと修正し進めてまいります、ということをお話させていただきました。冒頭でもご説明しましたが、現庁舎の耐震補強、現地建替、新しい場所に移転新築、こうしたこと全部一旦テーブルに広げ検討をしてきた結果です。第三者委員会では議会とのコミュニケーション不足という指摘もあり、今回懇談会という形を設け議論をしてきました。町民のために何をすべきか、新たに進めていくという方向性をお示し、本日説明をしているところでありますのでよろしくお願い申し上げます。